

【別紙】身近な生活にかかわる見方・考え方と評価計画の詳細

	学習活動 (体験活動と表現活動)	本時の目標	身近な生活にかかわる見方・考え方		評価規準（評価の観点）「評価の方法」
			深い学びにつながる姿		「深い学び」につながる姿の見取りの視点
			対象と夢中になってかかわる活動		
			意図的・計画的な働き掛け		
1	今までの生活を振り返り、秋について知っていることを伝え合う。(表現活動)	秋をもっと知りたい、秋探しをしたいという気持ちが高まる。	「秋探しをしたい」「秋のものをとりに行きたい」と声に出したり、体全体で表したりしている姿 自分の思いを自由に伝えることができる活動 自分の思いを自由に伝えることができる時間の保障	秋をもっと知りたい、秋探しをしたいという気持ちが高まっているか。(主)「発言・様態」 ・家から秋の自然物を持ってきている。「秋を見付けに行きたいな」「すぐにでも秋探したいよ」と自ら声掛けをしている。	
2・3	偶然に出会う5歳児とのかかわりを楽しみながら構内で感じた秋を見付ける。(体験活動・表現活動)	体全体で秋にかかわろうとしたり、進んで5歳児とかがわろうとしたりする。	秋の自然物をたくさん集めたり、進んで5歳児に話し掛けたりしている姿 秋を見付けたり、秋の自然物を教えたりする活動 秋の自然物がとることができる道順を設定する	構内で5歳児と秋探しをする中で、進んで秋のものを見付けようとしていたり、5歳児とかがわったりしているか。(主)「発言、様態、絵日記、物語」 ・秋の木の実は袋にたくさん詰め込んでいる。・これも秋かなと考えながら探している。・5歳児に秋の実を分けてあげている。	
4・5	5歳児と一緒に公園で感じた秋を見付ける。(体験活動)	見る、聞く、触る、匂うなどの諸感覚を通して、秋のものに気付く。	秋の自然物だけでなく、音や感触、匂いの視点からも秋のものとして感じている姿 視点を持って秋を見付ける活動 秋の自然物だけでなく、音や感触、匂い等の視点を提示する	見る、聞く、触る、匂うなどの諸感覚を通して、秋のものに気付いているか。(知・技)「様態・発言、物語」 ・秋の実を入れた袋を匂って、秋の匂いと感じている。・赤や黄などの葉を集めている。・枯れ葉を踏んでその音を楽しんでいる。	
6	公園で見付けた秋を紹介し、季節の変化の様子に気付く。(表現活動)	見る、聞く、触る、匂うなどの諸感覚を通して、秋のものに気付く。	秋の自然物だけでなく、音や感触、匂いの視点からも秋のものとして気付いている姿 視点を持って秋を見詰め直す活動 視点を再確認する	見る、聞く、触る、匂うなどの諸感覚を通して、秋のものに気付いているか。(知・技)「作文、発言、物語」 ・木のみの色や形の違いに気付いている。・赤や黄などの色が増えてきたことを書いている。・キンモクセイの匂いを伝えている。	
7・8	城山公園で季節の変化を考えながら秋を見付ける。(体験活動)	秋とその他の季節との違いや特徴を自分とのかかわりで考える。	城山公園での秋探しをしながら、秋の特徴について考えている姿 他の季節と比べる活動 城山公園を散策する中で、秋のよさを感じることができる場面を意味付ける	秋とその他の季節との違いや特徴を自分とのかかわりで考えているか。(思・判・表)「様態・発言・物語」 ・風の心地よさから秋は気持ちいい季節と考えている。・秋晴れのよさを感じている。・木の実がたくさん落ちていることに気付いている。	
9	見付けた秋を紹介し、秋について考える。(表現活動)	秋とその他の季節との違いや特徴を自分とのかかわりで考える。	積み重ねてきた体験の中で、自分が感じた秋の特徴について考えて表現している姿 秋を見詰める活動 子どもが発言したものに對して、どうしてそれが秋と感じるのかを問い返す	秋とその他の季節との違いや特徴を自分とのかかわりで考えているか。(思・判・表)「作文・発言・物語」 ・秋の季節について、自分のものとして考え、秋が好きな理由を述べている。・秋が自分を楽しませてくれるものと考えている。	
10	秋の自然物を使った遊びを試す。(体験活動)	秋の自然物を使った遊びを進んでつくりだそうとする。	秋の自然物を使った遊びで、もっと遊びたいと思いや願いを持って遊んでいる姿 秋の自然物で遊びを考える活動 子どもと一緒に遊びを考えたり、遊んだりする	秋の自然物を使った遊びを進んでつくりだそうとしているか。(主)「様態・発言・物語」 ・ドングリを回したり、弾いたりして遊んでいる。・枯れ葉をボンドでくっつけている。・マツボックリに枝を突き刺して遊んでいる。	
11	秋の自然物を使った遊びやおもちゃを考える。(体験活動)	遊びやおもちゃをつくりだすため、秋の自然物の特徴を生かして工夫する。	秋の自然物の特徴を生かしながら遊びやおもちゃをつくりだそうとしている姿 秋の自然物の特徴を生かしながら、繰り返し試す活動 子どもが気付いた秋の自然物の特徴の面白さに共感したり、考えたアイデアを称賛したりする	遊びやおもちゃをつくりだすため、秋の自然物の特徴を生かして工夫しているか。(思・判・表)「様態、発言、物語」 ・ドングリを上にした下にしたして、動きを試している。・ドングリに刺すつまようじの位置を工夫している。・飾りをボンドでくっつけている。	
12	秋の自然物を使った遊びやおもちゃを試行錯誤してつくる。(体験活動)	試行錯誤してつくる中で、遊びやおもちゃの面白さや秋の不思議さに気付く。	自分のつくった遊びやおもちゃのよさや面白さについて自慢している姿 自分がつくりたい遊びやおもちゃの見通しを持って、それに向かって工夫する活動 必要な物や工夫について見通しを持つことができるよう、どのような遊びやおもちゃにしたいかを問い返す	思考錯誤してつくる中で、遊びやおもちゃの面白さや秋の不思議さに気付いているか。(知・技)「様態、発言、物語」 ・ドングリごまはつまようじを刺すと安定することに気付いている。・色を気にして秋の実を付けるとすてきなアクセサリーを作ることができる。	
13	秋の自然物を使った遊びやおもちゃを試行錯誤しながら改良する。(体験活動)	遊びやおもちゃを改良するための自分なりの工夫を考える。	秋の遊びやおもちゃの完成の見通しを持って改良している姿 上手くいっている遊びやおもちゃと比べる活動 何のためにどのようなパワーアップをするのかを問い返す	遊びやおもちゃを改良するための自分なりの工夫を考えているか。(思・判・表)「様態・発言・制作物・物語」 ・飾りをお店の商品としてつくっている。・ピタゴラは高さを出して速く転がるようにしている。・音楽に合わせてマラカスで踊っている。	
14	秋の自然物を使った遊びやおもちゃをみんなで遊ぶことのできるものにする。(体験活動)	5歳児や友達の考えを生かしながら、みんなと楽しむことができる遊びを工夫する。	同じ遊びやおもちゃの子ども同士でつながり、みんなと楽しむことができる工夫を出し合っている姿 同じ遊びやおもちゃの子ども同士で伝え合う活動 同じ遊びやおもちゃの子ども同士が必要な材料等を、あらかじめ意図的に取り出して各机に設定する	5歳児や友達の考えを生かしながら、みんなと楽しむことができる遊びを工夫しているか。(思・判・表)「様態・発言・制作物・物語」 ・ドングリバトル場をつくりだそうとしている。・お店屋さんをつくりだそうとしている。・的当ての的をつくってルールを考えている。	
15・16	秋の遊びやおもちゃの遊び方やルールを考えながら、みんなで遊ぶ準備をする。(体験活動)	相手意識を持って、遊び方や遊び場、ルール等を自分なりに工夫する。	遊びの面白さを実感できるよう、遊びながら遊び方やルール等を考えて表現している姿 遊びながら遊び方やルールを試す活動 子どもが考えた遊び方やルール等で遊び、良さや改善案を伝える	相手意識を持って、遊び方や遊び場、ルール等を自分なりに工夫しているか。(思・判・表)「様態・発言・制作物・物語」 ・安全な使い方ができるようにルールを考えている。・みんなができるよう、合体して大きくしている。・点数制のゲームにしている。	
17	つくった秋の遊びやおもちゃを使ってみんなで遊ぶ。(体験活動)	相手意識を持って、進んでかかわりながら、秋の遊びやおもちゃの面白さを伝えようとする。	5歳児や1年生に楽しんでもらおうとルールを説明したり積極的に声を掛けたりして、かかわっている姿 遊んだ後に面白さや良さなど肯定的な感想を伝える活動 秋の遊びや面白さを伝えることができるようにするため、シールを活用して相互評価を取り入れる	相手意識を持って、進んでかかわりながら、秋の遊びやおもちゃの面白さを伝えようとしているか。(主)「様態・発言・絵日記・物語」 ・お手本を見せたり、一緒にやってあげたりしている。・遊んだ後に、一言ではなく、詳しく遊びの面白さをきちんと伝えている。	
18	みんなで遊んだことを振り返る。(表現活動)	秋の遊びやおもちゃについて、自分とのかかわりで考え、その面白さやみんなで遊んだことの楽しさに気付く。	秋の遊び面白さや5歳児とかがわる楽しさについて理由を語っている姿 みんなで遊んだことを見つめ直す活動 秋の遊び面白さや5歳児とかがわる楽しさについてどうしてそう思うのかを問い返す	秋の遊びやおもちゃについて、自分とのかかわりで考え、その面白さやみんなで遊んだことの楽しさに気付いているか。(知・技)「発言・物語」 ・秋のものが自分を楽しませてくれるものに変わっていることに気付いている。少ない人数よりみんなで遊ぶと、楽しいと感じている。	
19～20	「あきの ひみつきち まつり」の計画を立て、5歳児と協力して遊ぶ準備をする。(体験活動)	相手意識を持って、みんなと協力して、遊び方や遊び場、ルール等を自分なりに工夫する。	3歳児や4歳児の喜ぶ顔を思い浮かべながら、その子たちに合った遊び方やルールに変えようとしている姿 3歳児や4歳児を想像する活動 3歳児や4歳児が今のままで楽しんでもくれるかということを問い返す	相手意識を持って、みんなと協力して、遊び方や遊び場、ルール等を自分なりに工夫しているか。(思・判・表)「様態・発言・制作物・物語」 ・文字ではなく、絵で表示してわかりやすいようにしている。3歳児や4歳児に合わせて、遊びを簡単にしている。	
21	「あきの ひみつきち まつり」で3歳児、4歳児と一緒に遊ぶ。(体験活動)	相手意識を持って、進んでかかわりながら、秋の遊びやおもちゃの面白さを伝えようとする。	3歳児や4歳児に手取り足取り教えたり、発達段階に合ったかかわり方を考えたりしている姿 3歳児や4歳児をお店に招待する活動 3歳や4歳児に合わせてかかわり方について称賛する	相手意識を持って、進んでかかわりながら、秋の遊びやおもちゃの面白さを伝えようとしているか。(主)「様態・発言・絵日記・物語」 ・子どもの目線に合わせて、膝を付いてかかわったりしている。・手取り足取り、丁寧に遊びを教えている。	
22	秋の遊びや5歳児とのかかわりを振り返ったり、深まる秋の変化を話し合ったりする。(表現活動)	夏とは違う秋のよさや秋の深まりが分かるとともに、5歳児とかがわるよさや秋のおもちゃづくりの楽しさ、自分の成長に気付く。	秋のよさや自分の成長などに気付き、これからも季節を楽しんだり5歳児とかがわったりすることを続けていこうとする姿 「秋・おもちゃ」「5歳児・かかわり方」「自分の成長」の視点で自分を見つめ直す活動 子どもが書いたことを意味付け称揚する	夏とは違う秋のよさや秋の深まりが分かるとともに、5歳児とかがわるよさや秋のおもちゃづくりの楽しさ、自分の成長に気付いているか。(知・技)「発言・物語」 ・秋の始まりは温かったのに、秋の終わりには水道の水も冷たくなっていることに気付いている。・粘り強くなった自分に気付いている。	

